

広報

むせんとう

31

1

No. 35



平成18年1月1日原町市・小高町・鹿島町の合併により南相馬市が誕生

相双地区電気工事協同組合



発行・編集／相双地区電気工事協同組合

編集担当 総務委員会

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2丁目7番地

TEL (0244) 22-1951(代)

URL <http://www.ssdenkyo.or.jp>

E-mail info@ssdenkyo.or.jp



新年のご挨拶

相双地区電気工事協同組合
理事長 渡辺 光夫

新年明けましておめでとう
ございます。
皆様方には、お揃いでよき
新年をお迎えのことと、お慶
び申し上げます。

日ごろは組合の事業推進に
あたり、格別のご支援、ご協
力を賜りまして、心から厚く
御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみ
ますと、日本経済は全体の景
況としては一部回復に兆しが
見られるものの、私たち、中
小企業の電気工事業界につい
ては、公共工事の見直し削減
や、民間需要の低迷価格破壊
といった現象が顕在化し、依
然として厳しい環境の中で推
移いたしました。

一方、政府は行政改革・規
制改革をダイナミックに進め、
各業界にとっても個々の企業
にとっても、相互にしのぎを
削る時代になっております。

我々、電気工事業界の周辺
を見ても、大きな時代の変化
に入り、従来型の屋内配線
中心にした電気工事の減少と

ともに、新たに情報化、高齢
化、環境問題、安心安全など
の課題に対応する、新しい電
気設備工事が創出され、同時
に、国民生活の多様化、高度
化に対応したりニューアル工
事など、新たな需要が拡大の
方向にあります。

このような変化に対して、
私たちには、これまでの間接
型受注構造から脱却し、信頼
関係に基づくお客様の立場に
立った提案型技術営業を通じ
たストック需要の掘り起しが
求められます。

組合といたしましても 各
委員会の事業計画に基づいて
事業を展開してまいりました
が、中でも四年目を迎えたで
んき元気キャンペーンは、地
域のイベントに積極的な参加
をする一方、エンド・ユーザー
を対象に機器の有効性、取り
扱いなどについての講習会を
開催、さらには、東北電力(株)
メーカーのご協力を得ながら
組合員を対象に技術を含めた
講習会を開催し、販売目標の

数値を掲げ、組合員全員参加
で取り組んできたところであ
ります。
また、人材確保事業として
は第二種電気工事士の資格取
得について、東北電力(株)の協
力をいただき、組合主催事業
として講習会を実施いたしま
した。

結果として学科、実技とも
に高い率で合格者が出たこと
は喜びとするものであります。
さて、今後の問題として、
すでに皆様方にお知らせをし
ております、東北電力(株)の電
気新増設工事の受付業務一元
化が、いよいよ今年八月から
実施されることになりました。
このことに伴い申し込み方法
がインターネット、FAXに
なり、直接営業所の窓口での
取り扱いは緊急性のある特殊
な案件を除いてはできなくな
ります。これらについては、
東北電力(株)と連携を図りなが
ら説明会を開催するなど、業
務に支障を起ささないよう対
策を講じて参りたいと考えて
おります。

また、今年四月から改正実
施される会社法、改正高齢
者雇用安定法による高齢者確
保措置などについても、時期
を捉えて皆様方と共に研修を
し、理解を深め、スムーズな
移行、経営の安定を図ること
に寄与して参りたいと考えて
おります。

他にも、関係機関との連携
を図りながら、十七年度に取
り組んでまいりました助成事
業等に本年も積極的に取り込
み、今後の組合の在り方、事
業の展開など、また昨年実施
した資格取得の講習会の実施
参加、さらにはオール電化に
向けた提案型技術営業への継
続した取り組み、このことに
係わる事業を積極的に展開し
て参りたいと考えております。
これら諸問題を実現するに
は、何分にも組合員皆様のご
協力なくしては目標の達成は
かないません。惜しみないご
協力をよろしく願います。

最後になりましたが、ミド
リ十字の旗の下、平成十八年
の年間安全標語であります
「二歩先読む 確かな点検
めざすゴールは 無災害」を
旨とし、無事故、無災害を念
頭に、今年も組合員皆様の
益々のご健勝、ご繁栄をご祈
念申し上げます。

念申し上げます。

謹賀新年

相双地区

電気工事協同組合

理事長 渡辺 光夫

副理事長 青田 純

副理事長 八巻 正隆

副理事長 村井 洲湖

理事 渡部 昌彦

理事 松林 一延

理事 笠原 義雄

理事 阿部 三芳

理事 高山 克男

専務理事 渡部紀佐夫

監事 鈴木 昭一

監事 荒 秀夫

監事 富沢 千里



新年のご挨拶

東北電力株式会社 相双営業所

所 長 阿 部 紀久雄

明けましておめでとうございます。電気工事協同組合の皆さまには、ご家族お揃いで輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、弊社事業に対しまして、日頃より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、日本全体としては暮れには日経平均株価が一万六千円台に回復するなど、穏やかな景気回復の兆候も認められたものの、中国をはじめとする振興諸国の急激な経済発展に伴う原油需要増などに起因する原油価格の高騰等、先行き不透明な状況もあり、東北地方においては依然として厳しい経済状況が続いているという感が拭えません。

また、弊社を取り巻く状況においても、昨年四月からの電力自由化の一層の拡大により、自由化対象範囲がすべて

の高圧供給のお客さままでに引き下げられるとともに、また電力の卸取引市場の運用が開始されるなど、本格的な電力の競争時代に突入しております。

こうしたことから、私どもとしてもこれまで進めてきた効率化の歩みをさらに加速させ、より低廉な電気料金をめざす等、今後も自由化への生き残りをかけた強靱な経営体制をめざした努力を継続してゆく所存であります。

一方、八月に発生した宮城県沖地震により運転を自動停止した女川原子力発電所は、予想される最大規模の地震に対しても安全性が確保できるかどうかの安全審査を待ち、全機が運転を停止しておりましたが、お陰さまにて二号機については十二月に国の審査を通過し、地元の皆さまからのご理解を得て、運転を開始できる運びとなりました。今

後とも安全、安心を第一に市民の皆さまの声に耳を傾け、ご理解をいただく努力を続けてまいります。

結びに、私どもはこれからも、お客さまからこれまでどおり地元の東北電力を選んでいただくべく、良質な電気の安定供給はもとより、地域社会との共存を意識し、地域の一員として社会的信頼を向上させるよう、日頃の業務をおし地道に努力を重ねて参りますので、組合の皆さまからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に申し上げますが、電気工事協同組合の益々のご繁栄とともに、皆さまのこの一年の安全と健康を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

相双地区電気工事協同組合
青年部長 林 裕己



新年あけましておめでとうございます。

平素より青年部活動に深いご理解と温かいご支援を頂きました組合の皆様、関係各位の皆様、会員の皆様にご心より厚くお礼申し上げます。

昨年の青年部会活動は、皆様のご協力により大変活発に行う事が出来ました。

研修関係の事業としましては、全日電工連青年部の重点項目である、提案型技術営業の講習会を開催いたしました。

親睦交流としましては、ボウリング大会、更には今年度

初めて釣り大会を実施し、会員相互並びに関係機関と親睦交流を図ることが出来ました。

また、親組合のホームページリニューアルに伴い、青年部のホームページを立ち上げるべく現在作成作業を進めております。

さて、青年部は、平成三年三月に立ち上げて以来、本年、創立十五周年を迎えました。これもひとえに諸先輩方、親組合並びに関係機関の多くの方々のご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

私たち青年部は、電気工事業に従事する時代を担う若きリーダーを中心として組織し、会員相互の親睦と研修を通して研鑽を行い、熱意と誇りと思いやりをもつて業界の発展を通して地域に寄与することを目的として活動を行っております。

今後とも、よりよい事業をおこなえるよう、すべての会員が力を合わせて邁進いたします。これからも変わらぬご支援ご協力を皆様により多くお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまの今年一年のご健康とご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成十八年度 安全祈願祭・新年会



▲安全祈願祭



▲記念講演



▲新年会

平成十八年の安全祈願祭・新年会が一月二十日(金)午後三時三十分より、南相馬市原町区のラフイーヌにおいて開催された。

本年の工事安全を願う安全祈願祭が執り行われ、つづいて記念講演として、労働災害等発生状況を認識し、安全に対する意識高揚を図り労働災害の撲滅を目的に、相馬労働基準監督署 伊藤克義署長より、「労働災害発生状況とあり、労働災害発生状況とアスベスト問題について」の演題で講演が行なわれた。

講演終了後、会場を移し新年会が開かれ、渡辺理事長より年頭の挨拶の後、来賓を代

表して東北電力(株)相双営業所 阿部紀久雄所長より御祝辞をいただき、福島県立浜高等技術専門校 山田善治校長の御発声により乾杯が行われ、全員和やかにお互いの親睦を深めながら盛会に行われた。



福島県中小企業団体中央会共済制度担当



カエレル生命保険
「ザ・ベクトル」は、みっつい!!!



三井生命保険(株) 相双営業部
 原町市青葉町1-162 青葉ビル2F
 電話 0244-24-3050
 FAX 0244-24-5399

安全協会

一、引込線工事研修会の実施



得するとともに、訓練を通じて安全意識の高揚を図る目的で行われます。引込線委託工事業社及び新規に指定申請を行う会社は、次回更新時期までの三カ年の間に、原則として一回以上の訓練を受講することが義務付けられています。

講習会は、東北電力(株)相双営業所 安全主査、配電技術サービス及び配電計画課の

統一カリキュラムに基づき、平成十七年度第二回引込線工事技能訓練が、一月二十六日実施されました。

この訓練は、引込線委託工事における施工体制の見直しにより、相双地区安全協会の主催で実施するものであります。低圧引込線工事を安全かつ適正に施工できる技能を修



方々を講師に、東北電力(株)総合研修センターで、受講者六十二名が参加し行われました。

座学では、(一)安全管理について、(二)電力量計工事について、(三)CT付計器工事について、(四)引込線委託契約の更新について、(五)引込線工事デモ

二、災害ゼロ誓い安全大会を開催

福島県電気工事相双地区安全協会では、十二月十四日(火) 原町のロイヤルホテル丸屋において、会員の安全意識の高揚を図り、災害のない健康で明るく活力ある職場づくりを目指し、安全大会が開催された。

大会では、渡辺光夫会長、顧問の阿部紀久雄東北電力(株)相双営業所長の挨拶のあと、会員事業所代表の4名よりゼロ

口災活動の発表が行なわれた。



ンストレーションなどの講義が行われた。

実技として、(一)TBM、(二)資材機材準備、(三)安全対策、(四)昇降柱時の基本動作・柱上作業姿勢、(五)引込線接続工事(DV60mm×3)、(六)終了時のTBMの実技作業を行った。

安全ゼロ口災活動発表者

一、(有)暁電設工業

浜名 徳也

「安全への取り組み」

(代読)

二、目黒電設 目黒 清江

「わが社のゼロ口災活動」

三、吉岡電気 吉岡 紀男

「私の安全・安心・健康に関する対策」

四、(株)コムテックエンジニアリング 松本 一起

「わが社のゼロ口災活動、ヒ

ヤリハット、安全決意表明」



続いて、大会宣言を阿部利雄氏が力強く読み上げ、危険を危険と感じる感受性を高め、「決めたこと・決められたこと」を確実に守り、自らの安全確保を実践し、「ゼロ災・ゼロ疾病」に向け積極的に取り組むことを決意する大会宣言を採択、続いて平成十八年の安全スローガン「一歩先読む 確かな点検 目指すゴールは 無災害」を全員で指差し唱和した。

続いて、あいおい損害保険(株) 小林 中氏を講師に迎え、「保険と交通安全」をテーマに記念講演が行われた。

青年部

提案型技術営業セミナー開催

青年部主催による提案型技術営業セミナーが、一月二十七日(金) ラフイーンで開催された。

はじめに、第一部は、独立行政法人 雇用・能力開発機構 福島センターのご支援により、雇用管理



講習会として、(株)キャリア・サポート 山口美和氏を講師に招き、「提案型技術営業に必要なビジネスマナーについて」の演題で、言葉遣い、訪問、名刺交換など、知って

いるように知らないビジネスマナーの基本について講習を行いました。

続いて、第二部では、福島県電気工事工業組合青年部会長 吉田政夫氏を講師に、「提案型技術営業のスキルアップ」の演題で、提案型技術営業がどのようなものか理解していただくために、提案型技術営業の概念、取り組みステップなどについて講習を行いました。

講習会終了後、青年部新年懇談会を開催し、相互の親睦と融和を図りました。



青年部加入のご案内

青年部では会員を募集しております。

青年部では組合事業への積極的参加を通じて、次代の組合運営の担い手としての意識の高揚に努め、会員相互の教養を高め、親睦を図るため、福利厚生、各種研修会、講習会を行い、地域社会の発展、福祉に関する事業活動を展開しています。

自己研磨、情報収集そして幅広い人脈を得るため、是非とも多数の皆様にご入会いただき、

青年部活動にご参加いただきますようお願い申し上げます。

◇加入資格：組合に所属する組合員の後継者又は従業員で、45歳以下の者

◇申込及び問合せ先・相双地区電気工事協同組合事務局まで

建設国保のご案内

建設国保は…

全国で、大工・とび・土木・造園・左官・板金などの建設工事業に従事している方が集まり、昭和45年6月に設立した国民健康保険組合です。

建設国保の加入資格は…

建設工事業に従事していて、地域の同業種の母体組合に加入している方が、これから母体組合にも加入できる方が、建設国保に加入できます。

被保険者証による医療費の負担

3歳未満	3歳～69歳	70歳以上
8割給付 (自己負担2割)	7割給付 (自己負担3割)	9割給付 (自己負担1割) ※一定以上所得者8割給付

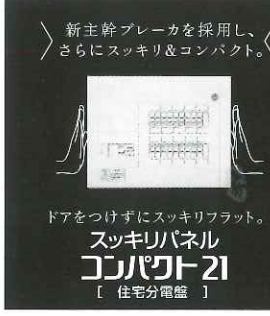
●組合員の方には「一部負担払戻金制度」があります(70歳以上の方は除く)。

1. 医療機関からの診療報酬明細書1枚について、保険診療費の1割分から3,000円を差し引いた額を払い戻します。
2. 保険診療費が241,000円を超える場合は21,000円を払い戻します。

保険料は4月1日の年齢で決めています

年 齢 区 分	組合員：月額
20歳未満	5,000円
20歳以上～25歳未満	8,500円
25歳以上～40歳未満	14,600円
介護保険第2号被保険者に該当する方	16,000円
40歳以上～65歳未満	15,500円
介護保険第2号被保険者に該当する方	16,900円
65歳以上	15,500円

家族：月額	
1人分額 (4人分まで徴収)	4,300円
介護保険・ 第2号被保険者に 該当する方	5,700円



新主幹ブレーカを採用し、さらにスッキリ&コンパクト。


ドアをつけずにスッキリフラット。
スッキリパネル コンパクト21
[住宅分電盤]

National
新主幹ブレーカ採用で、さらにスッキリデザイン。
横幅1/2※の新分岐ブレーカで、グッとコンパクト。
※当社従来品比

新主幹ブレーカ 16mm
コンパクトブレーカSH型

○資料のご請求は、〒571-8686 松下電工(株) 情報機器事業本部 戦略企画推進室 宣伝企画 (住所記載不要) TEL.06-6908-1131(大代表)。
松下電工

明るい現代社会を築く
いのちのパイプライン

 **北日本電線株式会社**
福島支社

郡山市駅前二丁目12番2号 日本生命郡山駅前ビル3階
TEL 024(932) 8 1 2 2 ・FAX 024(927) 0 0 7 2

一歩先から「生きる」を応援する 健康総合保険

LiveLead
リブリード

 **あいおい損害保険株式会社**
IOI

原町支社 〒975-0004 福島県原町市旭町4-91-17
TEL:0244-24-1083 FAX:0244-22-8827

換気扇・照明器具・空調機
オール電化品・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社
福島支店

〒963-0547 郡山市喜久田町卸1-76-1
TEL(024)959-6060 FAX(024)959-6066

電気工事用資材と産業用機器

◆主要取扱メーカー◆

- | | |
|-------------|-------------|
| 松下電工株式会社 | オーデリック株式会社 |
| 松下電器産業 | 大光電機株式会社 |
| 株式会社東芝 | イワブチ株式会社 |
| 三菱電機株式会社 | 株式会社ニチフ |
| 岩崎電気株式会社 | テンパール工業株式会社 |
| 古河電気工業株式会社 | 電成興業株式会社 |
| 矢崎総業株式会社 | マスプロ電工株式会社 |
| 住電ケーブル株式会社 | 未来工業株式会社 |
| 日東工業株式会社 | 大崎電気工業株式会社 |
| 春日電機株式会社 | オムロン株式会社 |
| 株式会社戸上電機製作所 | 住友スリーエム株式会社 |
| ネグロス電工株式会社 | TOA 株式会社 |



岡田電気産業株式会社

本 社 いわき市平谷川瀬字明治町27 (〒970-8036)
 TEL 営業部 (0246)25-6111 管理部 (0246)25-6121
 原町営業所 原町市上洪佐字原田178 (〒975-0034) TEL (0244)22-5105
 相馬営業所 相馬市沖ノ内三丁目10-20 (〒976-0016) TEL (0244)35-1234
 営業所：福島・福島東・会津・郡山北・郡山南・郡山西・白河
 勿来・いわき南・須賀川



電気保安を通して

社会に奉仕!

財団法人
東北電気保安協会
 原町事業所

自家用電気工作物の保安管理業務、特高電気設備、自家発電設備、消防用設備の点検・試験や電気使用合理化など、電気に関することは当協会にお気軽にご相談ください。

〒975-0034 原町市上洪佐字原田 432-1

TEL 0244-22-3568 FAX 0244-24-6142

<http://www.t-hoan.or.jp/> ISO9001 認証取得

TOSHIBA

人と、地球の、明日のために

地域と共に歩む

【取扱商品】

照明器具・配線器具・開閉器・換気扇・配電機器
 電線・電線管及び付属品・電設資材全般卸

東芝電材マーケティング株式会社

東北電材社 〒982-0015 仙台市太白区南大野田28-17
 TEL (022) 748-1005

相馬営業所 〒976-0042 相馬市中村字高池前53
 TEL (0244) 36-8901

電気技術総合コンサルタント!!

自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。



社団法人

東北電気管理技術者協会

- | | | |
|-------------|-------------------------|---------------|
| 協会本部 | 仙台市青葉区花京院二丁目11 プレシザ仙台ビル | ☎022-261-6015 |
| 福島県支部 | 伊達郡川俣町飯坂字戸ノ内5-3 | ☎024-566-3087 |
| 福島電気管理センター | 安達郡安達町油井字漆原42 | ☎0243-22-2674 |
| 郡山電気管理センター | 郡山市日和田町字日向84-5 | ☎024-958-5203 |
| 会津電気管理センター | 河沼郡河東町大字谷沢字十文字53 | ☎0242-75-2518 |
| 相双電気管理センター | 原町市仲町一丁目157 | ☎0244-22-2817 |
| 白河電気管理センター | 西白河郡東村大字釜子字枇杷山68-3 | ☎0248-34-2205 |
| いわき電気管理センター | いわき市平字堂の前18 | ☎0246-21-9828 |

CALS/EC・CI-NETをサポートします

利益の向上、省力化に貢献

工事原価管理システム

業界初、納品データを電子メールで配信、入力手間削減
 随時現場の進捗状況が把握出来ます。

CALS対応CAD、安心サポート

CADシステム

諸官庁を始め多くの電設業者さまから好評のCAD、
 Auto-CAD、DRA-CAD、JW-CAD等を直接読み込み



戸部電材株式会社

原町営業所 原町市北原字本屋敷153 ☎(0244)23-6106 相馬営業所 相馬市椎木字北原104-1 ☎(0244)35-6350(代)
 本 社 仙台市宮城野区日の出町二丁目2-13 ☎(022)783-8181 FAX(022)238-0031 <http://www.tdz.co.jp>

快適さを考えると、これからの住まいは オール電化住宅。

健康

空気を汚さない暮らしにやさしい電化住宅
温度変化(ヒートショック)の少ない
蓄熱式電気暖房器なら理想的な暖房です。

安心

火を使わないため安全性が高く
操作も簡単で、お年寄りや
お子さまでも安心です。

蓄熱式電気暖房器

蓄熱式電気暖房器は熱源に火を使わないので、燃焼ガスや水蒸気の発生もなく室内の空気を汚しません。換気も最小限ですみ、高断熱・高気密住宅には最適です。



快適

電気は快適・便利なエネルギー。
機能性の高い電化システムの利用で
家事も省力化ができます。

環境

エネルギーの有効利用により
「環境共生住宅」「省エネルギー住宅」としての
環境保全に貢献します。

経済的

割安な夜間の電気や
高効率の機器を活用することにより
優れた経済性を発揮します。



クッキングヒーター

クッキングヒーターは燃焼ガスによる空気の汚れがありません。油の飛び散りなども少なく、高い熱効率と使い勝手の良さで、お料理もはかどります。



電気温水器

電気温水器は燃焼ガスの排出もないため環境に優しく、割安な夜間の電気を活用することで、優れた経済性も発揮します。



エルク 福島営業所

〒960-8522 福島市置賜町2番35号

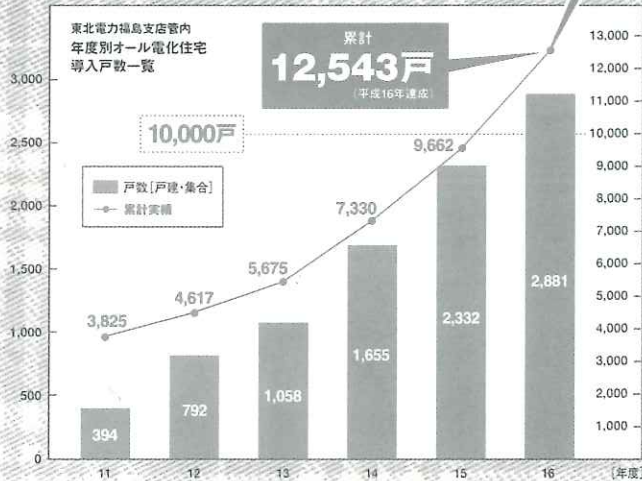
電話 024-522-0362(代)

HOTNEWS!!

ぐんぐん広がる!オール電化。

オール電化住宅の「良さ」が多くのご家族にご理解いただき、広がっています。

福島県内のオール電化住宅は、平成16年5月に累計10,000戸を突破し、その後も導入戸数はどんどん増えています。オール電化は、少ないエネルギーを上手に活かす高断熱・高气密住宅との相性がピッタリ。各システムの使いやすさも相まって、採用メリットは広く知られるようになりました。当社では、今後ともオール電化住宅がより多くの方々にお選びいただきますよう、これからも情報提供を積極的におこなってまいります。



オール電化にピッタリのおトクなメニュー

あなたはどちらのタイプ?

夜間 時間帯別電灯A 8時間タイプ

やりくりナイト8

「夜11時から翌朝7時まで」の夜間時間帯(8時間)の電気が割安に利用できる、おトクな料金メニューです。食器洗い乾燥機などタイマー機能を活用し、電気のご使用を夜間時間帯へ移行することでますますおトクになります。



夜間 時間帯別電灯B 10時間タイプ

やりくりナイト10

「夜10時から翌朝8時まで」の夜間時間帯(10時間)の電気が割安に利用できる、おトクな料金メニューです。やりくりナイト8(夜間時間帯:8時間)に比べて、朝食の準備や掃除・洗濯など、忙しい朝もおトクな時間帯となり、いっそう「やりくり」しやすくなりました。



一般的な電気製品を夜間の稼働で、電気も時間も効果的に!

食器洗い乾燥機やゴミ処理機、全自動洗濯乾燥機などはタイマー機能を活用し、電気のご使用を夜間時間帯へ移行することで、ますますおトクになります。



※やりくりナイト(時間帯別電灯)は、お客さまのご希望によってご契約いただく料金制度です

東北電力株式会社
相双営業所

TEL 0244-22-2160(代)
ホームページ <http://tohoku-epco.co.jp/>